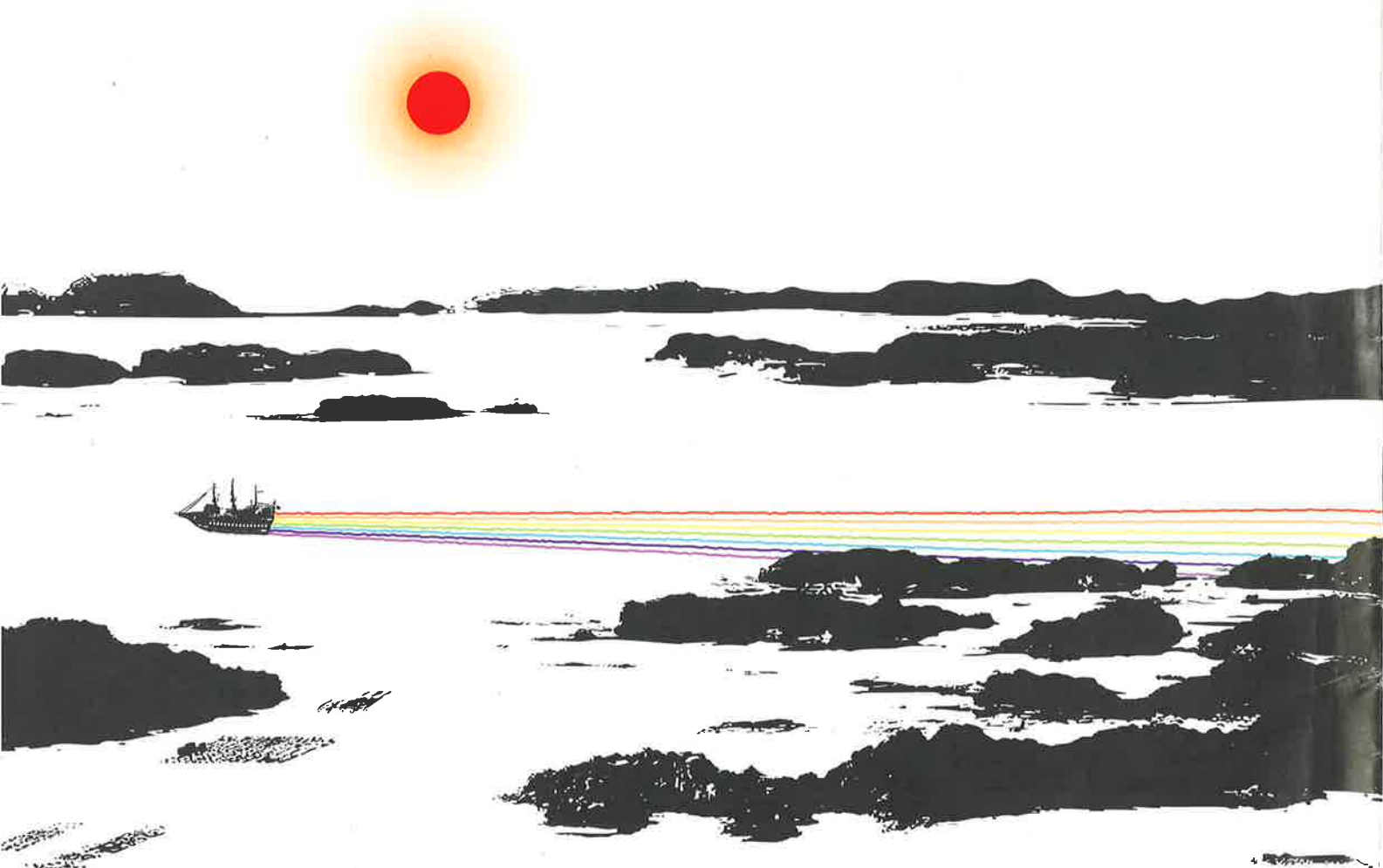




特集 第35回 長崎県新人演奏会
夢の第2楽章



街中にあふれる、あざやかな音色。
元気にワクワク、素敵にドキドキ。
いよいよですね、長崎ルネサンス。

長崎県文化団体協議会

BUNKYŌ
Cultural Information of Nagasaki



02 特集 夢の第二楽章 第35回長崎県新人演奏会



10 堀内伊吹のながさき音楽祭2007 ここが見処・聴処

- ◎ながさき音楽祭記念オーケストラ演奏会
- ◎OMURA室内合奏団&輝きを秘めた星たち
- ◎室内楽への誘い
- ◎イタリア・カンパーニア合奏団
- ◎美術館室内楽コンサート

14 イベントガイド

- ◎島原市会場舞台芸術公演 「萬狂言 inしまばら」
- ◎雲仙市会場舞台芸術公演 「kotist 宮西 希 コンサート」
- ◎南島原市会場舞台芸術公演 「石見神楽の世界」～悠久の時を越えて いざ、神話の世界へ～
- ◎第6回 長崎県ライトミュージックフェスティバル
- ◎しまの芸術祭 「一支国芸術祭～和太鼓フェスティバル～」

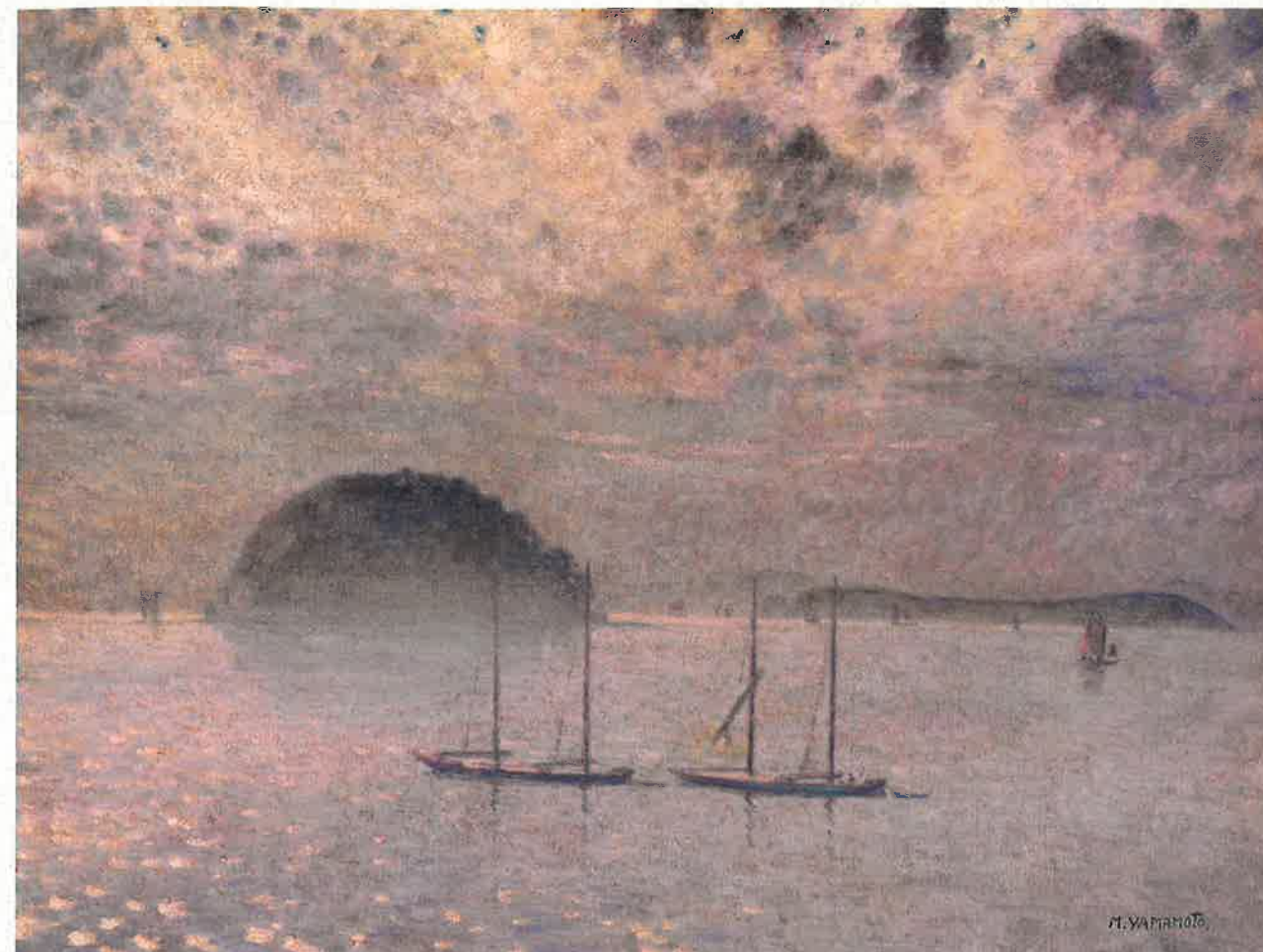
16 シーハット大村だより

17 アルカス情報

18 長崎の博物館・美術館を楽しむ秋

- ◎博物館秋の催し
- ◎美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートを楽しむ方

20 第52回長崎県美術展覧会公募展



山本昌之郎《長崎の港》1924年 長崎県美術館蔵(325-11.25長崎県美術館蔵)

ながさき音楽祭2007

長崎からはじまる新しい音楽祭

長崎県文化活力プロジェクト

9/4(火)~10/28(日)

主催/長崎県、長崎県文化団体協議会 特別協賛/監ジャパネットたかた 助成/財団法人地域創造
共催/長崎県教育委員会、長崎市、雲仙市、平戸市、対馬市、島原市、津久野市、佐世保市、佐賀市、新上五島市、南島原市教育委員会、新上五島市教育委員会、
中戸市文化協会、長崎大学教育学部、長崎女子大学、(財)長崎ミュージアム振興財団、(財)佐賀県地域文化振興財団、(財)大村市振興公社、長崎県音楽連盟、長崎県合唱
連盟、ギターフェスティバル実行委員会、青年交響楽団アンサンブル、野田町で音楽を聴く会、今里道彦(株)、六十郎(株)、(合同)吉田屋、清田道彦(株)、長崎県新音楽
協会、ジュニアオーケストラながさき、長崎交響楽団、長崎県オペラ協会
後援/毎日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社長崎支局、毎日新聞社、新日本新聞社、KTNテレビ長崎、NHK長崎放送局、NHK長崎文化放送、NHK長崎放送、
NHK長崎放送局、FM長崎、長崎ケーブルメディア、テレビ佐世保、長崎ケーブルテレビジョン、ひまわりテレビ、ケーブルテレビジョン島原、ザ・ながさき、ながさきプレス、ライフさぽ
く問い合わせ)ながさき音楽祭事務局 TEL.095-829-2883



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

新たに自分の音楽を見つめる

高石 浩貴 | サクソフォーン

昭和音楽大学器楽科在学中(佐世保市出身)

この度、第35回長崎県新人演奏会に出演させていただき審査委員、関係者の方には大変感謝しています。これまで様々な演奏会に出演させていただいてきましたが、今回は特に自分にとって非常に重要なものになったと思っています。

まず、共演させていただいた方々が自分より年齢が上だった事です。音大等を卒業され活躍されている方々が多数おられ、その音楽に触れる事ができ、とても勉強になりました。普段、大学ではなかなか聞く事のできない音楽を聞いたことは、必ず自分

の糧になったと思っています。

また、とても立派な大ホールで演奏できたこともためになりました。良いホールほど演奏の雑さやミスは目立つものです。その緊張感の中で演奏したくさんのお客様に拍手をいただいたことは、一番の喜びでした。自信にもつながりました。しかし、たくさんの方の反省があり、喜びと同時に未熟さも感じました。この演奏会では新たに自分の音楽を見つめなおすことが出来ました。これを機にさらによい音楽をしたいと思っています。



音楽が今まで以上に大好きになった

永田 美音 | ピアノ

長崎大学教育学部卒業(佐世保市出身)

今まで何故ピアノを続けることができたのだろう?

それに気付いたのは大学生の頃である。友人たちとある病院で演奏した時のこと。お客様は病気でつらいはずの患者さんばかり。しかし私たちが暖かく迎えてくれ、笑顔という最高のプレゼントをいただいた。その時、自分の演奏によって笑顔になったり幸せな気持ちになってくれる人がいるから続けることができたのだと感じた。その日以来、今ピアノが弾けるということはたくさんの方の支えや励ましがあったからだと思えることができることに感謝するようになった。

新人演奏会は夢のような話だった。出演が決まった時は本当に信じられなかった。本音を言うと私なんかでいいのだろうかという気持ちでいっぱいだった。しかし、夢の

舞台に立てる喜びの方が強く、演奏するからにはみなさんを少しでも心地よくできる演奏をしたいという一心で練習に励んだ。本番は、今まで支えてくれた両親、祖母、優しく指導してくれた先生、一緒に演奏活動してくれた友人、このような素晴らしい機会を与えて下さった方々、そして演奏を聴いてくださる方々へ感謝の気持ちを演奏で伝えようという気持ちから、心地よく演奏することができた。

新人演奏会に出演させていただいたことにより、音楽が今まで以上に大好きになった。これからも演奏活動を積極的に行い、特に普段演奏会へ足を運ぶことのできない方々のために演奏し、今度は私がたくさんの方に恩返しをしたい。

平成19年5月13日(日)午後3時開演 | 長崎ブリックホール 大ホール

夢をつかんだ11人による 第35回長崎県新人演奏会

名実ともに本県クラシック音楽家の新人登竜門として評価が高い、長崎県新人演奏会。第35回の今年度は、大山平一郎(指揮者・ヴィオリニスト)に、日本のトップクラスの演奏家である、木村俊光(声楽家)、伊藤恵(ピアニスト)、加藤知子(ヴァイオリニスト)の3人が加わり、2月にオーディション審査が実施されました。本演奏会では、60人のオーディションで優秀賞を受賞した声楽・ピアノ・フルート・クラリネット・サクソフォーンの11名。いずれも「夢の第2楽章」に相応しい素晴らしいステージでした。

夢の 第一楽章



35th Nagasaki Newcomer Concert

第35回長崎県新人演奏会 プログラム

第一部	高石 浩貴	サクソフォーン	ピアノ/江口友規子	R. ベンジ/アルトサクソフォーンと吹奏楽のための協奏曲
	永田 美音	ピアノ		A. スクリャービン/練習曲 作品8-2、5、4、12
	山口 律子	ソプラノ	ピアノ/小見山純一	中田 喜直/ゆく春
				G. ドニゼッティ/歌劇「アンナ・ボレーナ」より
第二部	森 あづみ	ピアノ		“あの方は泣いているの? …私の生まれたあのお城”
	川崎絵里子	ソプラノ	ピアノ/樋口 梨絵	S. ラフマニノフ/楽興の時 作品16第3番短調
	濱口知紗子	サクソフォーン	ピアノ/伊藤真理子	S. ラフマニノフ/楽興の時 作品16第4番短調
				團 伊玖磨/紫陽花
第三部	西田 祐樹	バリトン	ピアノ/樋口 梨絵	G. ドニゼッティ/歌劇「シャモニーのリンダ」より“この心の光”
	田邊 亜子	フルート	ピアノ/吉村 麻希	A. デザンクロ/プレリュード・カデンツァとフィナーレ
	吉田 瞳	ソプラノ	ピアノ/樋口 梨絵	W. A. モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」より“わしが溜め息をしている間に”
	田中 南美	クラリネット	ピアノ/樋口 梨絵	R. シュトラウス/献呈
第四部	樋上 裕子	ピアノ		B. マルティヌー/フルートとピアノのためのファースト・ソナタ第1・3楽章
				大 中 恩/トルコ桔梗
				G. ロッシーニ/歌劇「ブルスキニー」より“私に花婿を与えてくださいな”
				J. フランセ/クラリネットとピアノのための主題と変奏
第五部	ゲストコンサート			J. S. バッハ=ブゾーニ編/シャコンヌ〜無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番二短調BWV1004〜
	向井 静香	ピアノ		S. ラフマニノフ/前奏曲、二長調 作品23-4
				S. ラフマニノフ/楽興の時、変短調 作品16-1
				S. ラフマニノフ/楽興の時、ホ短調 作品16-4
第六部	審査発表			
	グランプリ(副賞10万円)	田中 南美	クラリネット	
	準グランプリ(副賞3万円)	樋上 裕子	ピアノ	
	特別賞(ピアノ共演)	樋口 梨絵	濱口知紗子	サクソフォーン



ある特別な思い出ができました

川崎絵里子 ソプラノ

福岡教育大学教育学部卒業(長崎市出身)

今回の新人演奏会に出演させていた
だいたことは、私にとってとても貴重な経験
となり、関係者の方々や先生、聴きにきて下
さった人たちにとても感謝しています。私は
今回、ある特別な思い出ができました。そ
れは、高校の同級生2人と一緒に出演で
きたということです。

私たちは活水高校の音楽コースで3年
間ずっと同じクラスでした。その3年間共
に過ごした学校生活では、音楽以外の思
い出もたくさんあります。そんな仲良し3人
組が、大学では別々の道になり、4年間お
互いがそれぞれの場所で音楽の勉強や
実技を磨いてきました。そして、今回の演
奏会で同じ舞台に立つことになった私たち

は、お互いに「頑張ろうね」と励ましあい
ながら本番を迎えました。私は4年ぶりにお
互いの演奏を聴き合えるということがとても
楽しみで、実際に演奏を聴いてみると、高
校生の頃とは全く違って、驚きを隠せ
ませんでした。「私たちも4年間で大人に
なったんだなあ」と実感しました。自分の演
奏では、緊張はしませんでした。これか
らの課題をたくさん見つけることができ、ま
た同級生の演奏を聴いて受けた刺激が、
さらなるやる気へとつながりました。

今回の新人演奏会での貴重な経験を
活かし、特別な思い出を大切にしながら、
これからも日々頑張っていきたいと思いま
す。

これから「夢の第2楽章」を
演奏していきます

山口 律子 ソプラノ

壱岐市立武生中学校教諭(佐世保市出身)

「19番、山口律子さん」名前を呼ばれた
瞬間、伴奏者の「やった!」という叫び声
を聞くと同時に涙があふれ、感動が胸がいっ
ぱいになりました。3度目の挑戦でのオー
ディション合格。ついに憧れのブリックホー
ルで演奏できると思うと、言葉では表現で
きない程の喜びでした。

それから本番までの3ヶ月間は、まさに
自分との闘いでした。3月に大学院を修
了し、4月から慣れない仕事、環境の中
でもがきながら、全く歌わない日々が続きま
した。「歌いたいのに歌えない」「体調を整え
たいのにできない」と悩む毎日、あんなに
嬉しかった新人演奏会出演が、自分の中
で重荷になっていくのを感じました。いつ
の間にか、オーディションに合格したときの感
動を忘れてしまっていたのです。

そんな状態で本番1週間前になり、精
神的に追い詰められ、「こんな演奏じゃ出
られない」と大学時代の恩師に泣きついて
しまいました。先生は「落ち着いて、自分が

今までやってきたことを内観してみなさい。
試練は乗り越えられる人にしか与えられな
いのよ。」と教えてくださいました。その言葉
に勇気付けられ、とにかく本番一発勝負で
歌うしかない!と決心し直し、なんとか本番
を迎えることができました。しかし、今日の演
奏では、聴く人の心に響く音楽が表現でき
たとは思えません。それは自分が歌うことに
精一杯で、聴く人のことを考えて演奏する
ことができなかったからだと思います。音楽
を演奏するからには、人の心に響かなけれ
ば意味がありません。忙しさや体調不良は
理由になりません。練習の時から聴く人の
ことを考えて演奏できるような音楽家を目
指して、これから「夢の第2楽章」を演奏し
ていきます。

最後になりましたが、伴奏者をはじめ、先
生方や両親、遠方から駆けつけてくれた
友人たち、そして会場にいらして下さった
皆様に心から御礼申し上げます。ありが
うございました。



自分らしく



濱口知紗子 サクソフォーン

東京ミュージック&メディアアーツ尚美コンセルヴァトアールディプロマ科在学中
(長崎市出身)

第35回長崎県新人演奏会に出演させ
て頂きありがとうございました。また、準グ
ランプリという素晴らしい賞をいただいたこと
を光榮に思っています。

出演が決まってからは「いい演奏、いい
音楽を」と、その事ばかり考えてしまう毎日
でした。一体何が「いい」のか、考えても答
えは出ず、不安と焦りで練習も思うようにい
かなくなっていました。

そんな時、レッスンの先生に「お前にしか
できないお前だけの音楽がある。それを精
一杯やって、楽しんでおいで。楽しくない音
楽は音楽じゃない。」とっていただきまし

た。その言葉のおかげで、本番は肩の力を
抜いてのぞむことができました。

まだ自分自身のりこえなければならな
い課題はありますが、これから先色々な経験
をして、一歩ずつ前に進んでいけたらと思
っています。多くの人に楽しさ、そして感
動を届けられる演奏家を目指して頑張っ
ていきたいです。

今回演奏会に携わった皆様、指導して
下さった先生、支えてくれた家族、聴きに
来て下さった皆様方全てに心から感謝し
ています。



夢の舞台

森 あづみ ピアノ

東京都江戸川区立小岩小学校教諭(長崎市出身)

この度は、第35回長崎県新人演奏会に
出演させていただき、心より感謝申し上げ
ます。

出演が決まってからの3ヶ月間は、仕
事や家事に追われる日々が続く、思うよう
に練習ができないことへの苛立ちや不安
から、ピアノを弾く事が怖くなった時もあり
ました。しかし、「新人演奏会に出演したい」
という夢をここであきらめるわけにはいかな
いと思い今の自分にできる精一杯の演奏
をしようと考えました。

演奏会当日、あの広い舞台に立った時、
私はやはりピアノが大好きだと心から思え
ました。

このようなすばらしい舞台に立つことが
できたのは、家族をはじめ、熱心にご指導く
ださった先生方の支えがあったからだと思
います。本当に良い経験ができたと感謝し
ております。

これからもピアノを通して多くの人に音
楽のすばらしさを知っていただけるよう活
動していきたいと思っています。





憧れの舞台でした

吉田 瞳 ソプラノ

昭和音楽大学大学院研究科在学中(諫早市出身)

ブリックホールという素敵な舞台で演奏できる新人演奏会は、声楽を勉強している私にとって、憧れの舞台でした。

各部門、素敵な演奏をされる方々の中で演奏できたことはとても勉強になり、刺激を受け、大変良い経験になりました。

私は、大学進学の為、長崎を離れ、神奈川県にある昭和音楽大学で声楽を勉強しました。同じ志しを持つ同年代の多くの仲間や恵まれた環境の中で学ぶことにより、良い声を出すこと、テクニックを身につけることはもちろん大切ですが、自分の

“声”で自分にしか出来ない音楽を表現することはとても難しいことですが、一番大切なことだと感じました。

今回の演奏会で、少しでも多くの方々に私の音楽を感じていただけたら幸いです。

これから、今回の経験を生かし、人々に喜びや感動を与えられるような歌い手になれるよう、精一杯努力していきます。

最後になりましたが、この演奏会に携わった皆様、御指導して下さる先生方、演奏を聴いて頂いた皆様、本当にありがとうございました。

初心を忘れずに新たな気持ちで



田中 南美 クラリネット

国立音楽大学音楽学部卒業(諫早市出身)

過去にこのオーディションを受けたときは思うような演奏が出来ず不合格。それからの自分は人前で演奏することに自信をなくし演奏活動も積極的に行うことができませんでした。しかし、ある先輩がこの演奏会に出るために4回もチャレンジして合格し、努力された姿を見て「自分もこのままではいけない。逃げていてはいけない」そう気づき、最後のチャレンジだと挑む決意をしました。それからの私は仕事が終わってからの時間をすべて練習にあて大学受験の追い込みのように無我夢中で練習に打ち込みました。合格発表後、私は嬉しさと同時に「自分自身のための演奏はやりきった。演奏会では聴いてくれるすべてのお客さんを楽しませるような演奏をしよう」と思いました。それから約3ヶ月間、練習はもちろん表現力を磨くための研究に没頭しました。本番では小さな失敗はあったけれど、信頼できるパートナー樋口梨絵さんの支えも

あって今までにない集中力でのびのびと楽しく演奏することができました。

全く想像も期待もしていなかったグランプリ。夢のような現実にはばらく実感がわかなかったのですが、60人の頂点にたったことの重大さを日経につれてジワジワと感じてくるようになりました。受賞できたことは私自身とても嬉しかったのですが、それ以上に自分の事のように喜んでくれる家族、師匠、友人、生徒がいることがなにより嬉しく幸せです。これからも初心を忘れず新たな気持ちで音楽と向き合っていきたいと思っています。

最後になりましたが演奏会の場を提供して下さった県の職員の方々、熱心にご指導して下さった先生方、いつも励まし温かく見守ってくれる家族、応援してくれた友人、演奏会にいらして下さった方々にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



演奏後、涙を流した私

西田 祐樹 バリトン

国立音楽大学音楽学部卒業(佐世保市出身)

新人演奏会に出演が決まった時「なぜ私が?何か評価されたの??」と自問自答を繰り返していました。音楽大学卒業後活躍していく友人を見て焦りを感じ、自分の演奏に自信をなくしつつありました。

そんな状態で本番を迎えましたが出演前、たくさんの花束が私のもとに届けられました。それを見た私はこれ程多くの人から支えられているのだと改めて気付くことができました。

本番では今までの自分とは違い、自分の演奏に自信を持って歌うことができました。それは自分にとって大きな喜びでもあり、

演奏にも反映されたとおもいます。その演奏で私を支えてくれた家族・先生方や友人へ感謝を伝えることができました。

演奏後その喜びに私は涙を流し、これからの音楽生活の中でこの気持ちを忘れず素晴らしい演奏家になれる様に努力していこうと思います。きっとそれが私の自信にもつながっていくことでしょう。

この様な素晴らしい機会を与えて下さった関係者の皆様に篤くお礼申し上げます。今後機会があればまたここ長崎で演奏できることを願っております。ありがとうございました。



心に届く音楽を

田邊 亜子 フルート

長崎大学教育学部卒業(長崎市出身)



オーディションの合格発表で名前を呼ばれた瞬間、喜びと同時に新たなステップに上られたことで気持ちが引き締まりました。

私とフルートの歩みは、中学で吹奏楽に出会い、高校までの6年間毎日フルートに触れることから始まりました。ただ音楽が大好きで、仲間と共に演奏し世代を超えて多くの人々に聞いていただくことが喜びでした。長崎大学に入学した事が新しいステージの始まりで、良き師に指導していただき、心からお客様に楽しんでもらうために気持ちだけで音楽を表現するのではなく自分自身の技術も向上しなければいけないことに気付き、毎日ひたすらフルートを吹いていました。しかし、いつの間にか独りよがりの音楽になっていることにとても落ち込みました。聴いてくれる人がいて初めて、私にとっ

での音楽は成り立つんだと気付かされたのです。

今回、私自身、初の大舞台である新人演奏会でまだまだ未熟な私が演奏させてもらったのも、人一倍「音楽を心を込めて人々に伝えたい」という気持ちが伝わったからではないかと思っています。会場に足を運んでくださった方々にどのような印象を与えられたかは分かりませんが、フルートの魅力を少しでも感じて頂けたら嬉しいです。

最後に、今もこうしてフルートを続けていられるのは、力添えをして下さる指導者・音楽関係スタッフの方々・家族・私の音楽を聴いてくださる方全てのひとのおかげです。これから演奏家として一步一步ではありますが、新人演奏会での貴重な経験を生かして成長していきたいと思っています。



第35回新人演奏会にゲスト出演して

○ゲスト

向井 静香 | ピアノ

(株)弦洋会楽器店にてピアノ講師を務め、ソロ・伴奏などにおいて各種演奏会に取り組んでいる。第34回長崎県新人発表演奏会でグランプリ受賞(長崎市在住)

長崎県新人演奏会のステージに再び立たせていただき、本当に光栄に思っております。ゲスト出演ということでしたが、その事を特に意識することなく、ただただこの素晴らしい演奏会の機会を大切に精一杯やり遂げようという気持ちでした。

私は、去年に引き続き、ラフマニノフの曲を勉強し、演奏させていただきました。新人演奏会のオーディションを受けようと思った時からこれまで、七曲取り組んできましたが、一定期間、一人の作曲家の曲について、自分のできる範囲ではありますが深く学ぶことができたことは、とても良かったと思っています。おかげで、私にとってラフマニノフは、印象深い大好きな作曲家になりました。そして、数年後、これらの曲をもう一度弾いてみたいと思っています。何回もくり

返し勉強することで、今の段階では見えない新たな発見が数限りなくあることと思います。

それと同時に、ベートーヴェンなど古典期のものや、ショパンのエチュードなど他の作曲家の作品にも取り組んでいきたいです。

このように、思う存分ピアノを弾くことができるのは、ここまで導いて下さった先生方や両親、支えて下さった方々のおかげです。そして、今回のような貴重な経験をさせていただき、演奏会に携わっていらっしゃる皆様に心から感謝いたします。

自己表現であるピアノ演奏を通して、聴いて下さる皆様に少しでも多く“熱い何か”を伝えることができるよう努力していきたいと思っています。



「十年一昔」というが

友永 仁 | 推進委員長

第35回新人演奏会推進委員長(元大村高校校長)

第35回長崎県新人演奏会は大きな成果を揚げたことが出来ました。

グランプリ1名・準グランプリ2名・ピアノ伴奏賞1名は新設である、特に35回は新しい展開を生むことが出来ました。

それは「長崎ルネッサンス」を指向する「ながさき音楽祭2007」です。

「十年一昔」と云うが10年前には予想もしなかったこの発展の中に、これから10年先を思索するために、10年前つまり平成9年11月3日の県新人発表演奏会第25周年コンサートを顧みることにした。

企画運営委員を、地元長響に関わり事情に精通した松本寛三を中心に、小川勉・堀内伊吹・三上次郎・山口修にお願いした。

過去25回の新人発表演奏会出場の中から各部門ごとに推薦。

①バイオリン・ノ瀬博 ①チェロ・本田實 ⑧ソプラノ・若杉千賀子 ⑫テノール・中武幸嗣 ⑭ピアノ・林田賢 ⑯ギター・坂元敏治。

【⑭①・⑯は出演された新人演奏会の回数】

他に伴奏者として⑩ピアノ・森実知代 ⑭ピアノ・溝上智子。

審査員も演奏していただくことになり、川口由紀子/モーツァルトピアノ四重奏一番短調、堀内伊吹/モーツァルトピアノ協奏曲20番二短調、井谷俊二/ベートーベンピアノ協奏曲五番変ホ長調/皇帝、小川勉/モーツァルトクラリネット協奏曲イ長調、山口修/ギター・アランフェス協奏曲、管絃部門は、新人出演者・審査員・九州・東京で活躍中の長崎になじみのある方の支援をうけて編成された記念オーケストラで、指揮に松村正吾を迎えた35名である。オケの伴奏で歌は古田庄平の「九十九里浜」「初恋」はオケ伴の三上次郎の編曲は見事な効果をあげた。

元新人・現審査員、それぞれ熱演であった。

後日、実名入りの新聞投書があり、「……はじめは快い音に欠けた演奏であったが、プログラム後半に進むにつれて、豊かな音色・コンツェルトのエネルギーに満ちた演奏は満足した。今後、更に研鑽を……」とあった。

担当者としては、少々意見もあるが、10年20年の経過の歴史に感じ取られている「声」であったと思う。

さて今度の音楽祭は9・10月の2ヶ月にわたるフェスティバルである。審査員・県外講師を中心に、音楽塾・塾発表会など幅の広い積極的に「育てる」また、「島の教会」や、「酒蔵コンサート」など「楽しむ・賑わう」……内容の充実した演奏と歌の祭典である。

第25周年の頃は思いもし得なかったこの拡がり、音楽関係者の日々の努力の成果でもあるが、行政の支援・指導が大きく支えたことは見逃してはならない。

ここ数年、第31回から文化ホールから現ブリックホールへ移行できたこと。審査委員長に大山平一郎氏を招へいできたこと。そして、音楽祭を企画したこと。こうしてみると、行政に人を得たことが一番の収穫である。

今後とも、活躍を祈念する次第である。

音楽は素晴らしい

樋上 裕子 | ピアノ

活水女子大学音楽学部卒業(大村市出身)

第35回新人演奏会に出演させていただき、ありがとうございました。

この演奏会には、高校時代音楽コースで共に学び、別々の大学へ進学した仲間も出演しました。高校3年次の定期演奏会以来、再び同じ舞台に立つことができ、とても嬉しく思っております。

今回の演奏会に出演させていただき、今まで音楽を学んできてよかったと、改めて感じる事ができました。音楽は素晴らしいと思います。音楽は、人の心を豊かにする力を持っていると思います。私の演奏を聴いて、少しでも何かを感じて下されば……そしてそんな演奏ができるようになりたいです。

す。これから色々な事を経験していく中で、更に感性を磨き、それを表現できるような演奏家を目指し、勉強していきたいと思っております。音楽で生活していくということは簡単ではないと、大学を卒業してひしひしと実感していますが、自分のペースで、自分なりに楽しみながら続けていければ、と思います。

最後になりましたが、この度は、ブリックホールという大きな舞台で演奏する機会を与えていただき、本当に感謝しております。お世話になった皆様、ありがとうございました。



思いがけない受賞



樋口 梨絵 | ピアノ共演

福岡・長崎を中心に演奏会に出演、伴奏室内楽にも取り組んでいる。第27回長崎県新人発表演奏会に出演(諫早市在住)

第35回を迎えられた「長崎県新人演奏会」!!! “音楽大好き”になった私が、小学校高学年の頃からほぼ毎年、楽しみに聴いてきた演奏会です。それだけに、この舞台に対する憧れやこだわりは強く、ピアノソロで出演させて頂いた後も、伴奏という形でたくさんの友人とこの舞台に挑戦して参りました。そんな特別な思いのある「県新人(私の周りでの通称)」、そして特別に大切に思っている伴奏に対しての今回の思いがけない受賞は、私にとって本当に「特別」なものとなりました。

1人こもってピアノに向かっていった大学時代、邪魔し入ってきた私は私に初見で伴奏を弾かせ、歌い逃げしていくテノールの先輩のお遊びの中で、伴奏の心地よさを知り「伴奏」の虜になりました。その後たくさんの方々と共演させて頂き、陰である伴奏に課された責任の重さ、恐ろしさを思い知ることもあります。だからこそ一緒に作り上げていく

充実感は一瞬で、ソリスト達との絆を味わうことができた時ほど、ピアノが弾けることを幸せに思うことはありません。

今回、私たち『伴奏者』という陰の存在に目を向けて下さった審査員の先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。ですが陰の私のそのまた陰で支え育てて下さっている、ピアノや声楽の先生方、これまでの共演者全てが今回の受賞者であり、このことが少しでも皆様への恩返しになれば……と思っています。

最後になりますが、私は長崎で生まれ育ち、子供たちのための「ながさき若い芽のコンサート」そしてこの「県新人演奏会」……と、県に育てて頂いていることを常々感じて参りました。この素晴らしい歴史ある長崎で、また音楽の歴史を繋いでいくため、何か自分もお役に立てれば……と、これからはピアノに向かって考えていくつもりです。

育て、市民がそれを応援する音楽祭です。この日本でもあまり例をみない音楽祭を始めるにあたり、指揮者でありヴィオラ奏者でもある大山平一郎氏を音楽監督として迎えしました。大山先生は、アメリカでの音楽祭の経験も豊富で、いわば音楽祭のスペシャリストです。では、さっそく今年の音楽祭の見処・聴き処をご紹介します。

祝祭気分を盛り上げる、オーケストラ

音楽祭を支え、継続させる大きな力としてオーケストラの存在があります。その音楽祭には、どんなオーケストラがあつて、誰が指揮をするのかというのは、音楽ファンが一番興味を持つところでしょう。

10月28日のフィナーレには、県内外のトップアーティストやゲストプレイヤー等により結成された「ながさき音楽祭記念オーケストラ」が大山先生の指揮で演奏します。長崎では、滅多に演奏されないベートーヴェンのトリブルコンチェルトでは、ピアノの伊藤恵、ヴァイオリンの豊嶋泰嗣、チェ

ロの辻本玲という豪華なソリストが共演します。この顔ぶれなら、それぞれをソリストとして3回に分けて聞きたいところですが、今回は一粒で3回分美味しいという贅沢なプログラムです。地元からは、合唱指導の重鎮松川暢男先生が地元のコーラスを率いて、ヘンデルのメサイヤから抜粋で指揮をされます。さらに、ブラントの2台ピアノのためのコンチェルトでは、活水女子大学の井谷俊二先生と私が初共演します。こちらもお楽しみいただけたらと、現在特訓中です。

10/20 土 OMURA 室内合奏団&輝きを秘めた星たち

とぎつカナリーホール[時津町] ●開演15:00

●全席自由／一般2,000円(当日2,500円) 高校生以下1,000円(当日1,200円)



朝永 侑子
(ハープ)



吉川 友理
(ソプラノ)



北川 クミ
(ソプラノ)



大石 洋史
(バリトン)



大山平一郎
(指揮)



向井 静香
(ピアノ)



楠本 緑
(ピアノ)



中西 弾
(ヴァイオリン)



松川 裕子
(ヴァイオリン)



永留 結花
(フルート)

長崎には、こんなに素晴らしい「若い人」と「音」がある

●お問い合わせ先／ながさき音楽祭事務局 TEL.095-829-2883

堀内
伊吹の

ながさき音楽祭2007

ここが見処・聴処

みどころ

きどころ



ヨーロッパ各地で開催された夏の音楽祭のしめくくりとして、スイスのレマン湖の畔では、8月から9月にかけてルツェルン国際音楽祭が開かれます。夏の間、各地の音楽祭にゲスト演奏した名手たちが自分達の休暇も兼ねて集まるので、その豪華な顔ぶれが特徴の音楽祭です。有名なザルツブルグ音楽祭は、モーツァルト生誕の地に因んで、作曲家に特化した伝統ある音楽祭です。ロンドンのプロムスには、世界中の有名なオーケストラやソリストが集まります。この100年以上も続いている音楽祭の主役は、音楽を心から楽しんでいる

ロンドン市民と会場となるロイヤル・アルバートホールそのものです。信州松本のサイトウ・キネン・フェスティヴァルは、小澤征爾さんが海外で活躍する日本のアーティストを集め、密度の濃い演奏を展開する音楽祭で、秋の訪れが早い信州の夏の終わりの風物詩となっています。さて、ここ長崎でも音楽関係者のみならず、県民の多くの期待のもとにながさき音楽祭2007がスタートします。特色はやはり地域が主役の音楽祭、即ちそこで暮らす人々がステージで演奏し、東京からのゲストが地元の若いアーティストを

10/28 日 ながさき音楽祭記念オーケストラ演奏会

長崎ブリックホール・大ホール[長崎市] ●開演15:00

●指定席／S席3,000円(当日3,500円) A席2,000円(当日2,500円) ●B席1,500円(当日2,000円) 大学生以下(当日座席指定)1,000円(1,500円)



松川 暢男
(指揮)



大山平一郎
(指揮)

この日、長崎に
新しいオーケストラが誕生する

- ながさき音楽祭記念オーケストラ
- ながさき音楽祭記念合唱団



伊藤 恵
(ピアノ)



豊嶋 泰嗣
(ヴァイオリン)



辻本 玲
(チェロ)



堀内 伊吹
(ピアノ)



井谷 俊二
(ピアノ)

●お問い合わせ先／長崎県音楽連盟 TEL.095-820-1081

トがオーケストラをバックに演奏し、それを励みに成長していく姿を、皆さんとともに見守りたいと思います。

究極の音楽の醍醐味、

室内楽

オペラやオーケストラのような華やかさはありませんが、秋の気配を感じながら、じっくりと音楽を楽しむのには室内楽がぴったりです。10月26日には、記念オーケストラの演奏会のソリストを中心とした室内楽の演奏会「室内楽への誘い」が開かれます。私の友人である九響のヴァイオリニストは、大山先生は指導者としてもすごいけど、ヴァイオラがめっちゃくちゃ上手いんだよね、と常々話していました。その大山先生が奏でるブラームスのピアノ四重奏曲、お勧めのプログラムです。さらに、地元の演奏家たちがベートーヴェンのピアノと木管のための五重奏に挑みます。奏者は5人ですが、まるでピアノコンチエルトを聞いているような厚いサウンドの名曲です。こちらにも楽しみです。

さらに、新人オーディション合格者



や地元の大学の教員、それに大山監督も参加されての「長崎県美術館室内楽演奏会」が3夜に渡って開催されます。3夜目の10月23日には、ピアノの林田賢さん、ヴァイオリンの江島有希子さん、加藤暁子さん、ヴァイオラは大山先生、チェロは原口梓さんでシューマンのピアノ五重奏が演奏されます。美術館で聞くシューマンの豊かな音の広がりとはーモニーは格別のものでしょう。

それから、世界的な活躍を続けている長崎のギタリストが集う「ながさきギターフェスティバル」は10月25日です。音楽監督は、長崎はギター王国だとおっしゃってますが、私たちは日ごろから水準の高いギター演奏に触れているので、そのことに気づいていないのかもしれない。今回の4名のソリストが、一同に会するのは

珍しいことだそうで、その意味でも楽しみなフェスティバルです。

また、「ゴラスの祭典」は、6月に

60周年記念演奏会を終えたばかりの長崎県合唱連盟が総力を結集して取り組む一大合唱絵巻です。

お父さんだって楽しみたい、 蔵シツク

コンサート会場に出かけてみると、お気づきになれるでしょうが、日本の音楽文化は女性が支えているのではないかと思えるほど、きれいに着飾った女性で溢れています。辛い仕事を終え、お金を払ってコンサートに行くくらいなら、居酒屋で...というお父様方。「ほろ酔い気分蔵シツク」コンサートはいかがでしょうか。県内の3つの蔵元で、それぞれ趣向を凝らした酒蔵コンサートがあります。演奏前に、軽くお酒をいただき、休憩時間に、さらに一杯、後半は夢見心地で音楽を楽しんでいただくコンサートです。もちろん、女性の皆様も御参加いただけます。9月30日（第1夜）は、映画音楽を集。10月8日（第2夜）は、木管楽器のやわら

かな音色を堪能いただき、10月14日（第3夜）はオペラマリアを優雅に楽しんでいただきます。

街角で楽しむ音楽、 音楽が溢れる街

プレコンサートでは、なんといっても、上五島で開かれる「しまの教会コンサート」です。他には、南島原ではポエオリジナルメンバーによる「ファミリーコンサート」、お寺の本堂などでの「木管アンサンブル」、小さな小学校での「ふれあいコンサート」、「マーチングパレード」、「街角ブラス」などが予定されています。

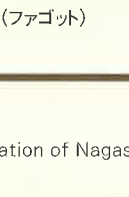
この秋の長崎は、音楽色に染まります。スイスのルツェルンは、19世紀の町並みが保存された美しい街です。そこで開かれている音楽祭もまた人々の心に美しい思い出を刻んでいます。蒼く美しい海に囲まれた長崎、海外との交流が途絶えていた時代にも文化の香りが溢れていた長崎、そこに住んでいる私たちが主役の音楽祭が、今まさに始まろうとしています。

（ピアノ・長崎大学教授）

美術館室内楽コンサート

長崎県美術館[長崎市] ●開演20:30

●全席自由／一般2,000円(当日2,500円) 高校生以下1,000円(当日1,500円) [3日間セット券／一般5,000円 高校生以下2,500円]

10/13 土 第一夜		10/21 日 第二夜		10/23 火 第三夜	
	吉田 瞳 (ソプラノ)		樋口 梨絵 (ピアノ)		川崎絵理子 (ソプラノ)
	江川 敦子 (ピアノ)		小川 勉 (クラリネット)		樋口 梨絵 (ピアノ)
	大倉 安幸 (オーボエ)		種口 敬明 (ファゴット)		清水 万敬 (ホルン)
	種口 敬明 (ファゴット)		清水 万敬 (ホルン)		大山平一郎 (ヴィオラ)
	吉川 友理 (ソプラノ)		北川 クミ (ソプラノ)		山浦 直子 (ピアノ)
	佐々 静香 (フルート)		林田 賢 (ピアノ)		江島有希子 (ヴァイオリン)
	加納 暁子 (ヴァイオリン)		大山平一郎 (ヴィオラ)		原口 梓 (チェロ)

●お問い合わせ先／長崎県美術館 TEL. 095-833-2110

10/26 金 室内楽への誘い

アルカス SASEBO・中ホール[佐世保市] ●開演19:00

●全席指定／一般3,000円(当日3,500円) 大学生以下1,500円(当日2,000円)

日本のトップアーティストと 長崎で活躍する演奏家による競演

			
大倉 安幸 (オーボエ)	種口 敬明 (ファゴット)	清水 万敬 (ホルン)	大山平一郎 (ヴァイオリン)
			
辻本 玲 (チェロ)	樋脇 優子 (ピアノ)	江川 敦子 (ピアノ)	

●お問い合わせ先／アルカス SASEBO TEL. 0956-42-1111

10/20 土 イタリア・カンパーニア合奏団

アルカス SASEBO・大ホール[佐世保市] ●開演19:00

●指定席／S席:4,000円(当日4,500円) A席:3,000円(当日3,500円) ※大学生以下各席半額

イタリアの香り、ストリングスの響き



		
久野 恵理 (ソプラノ)	鶴田 智子 (ソプラノ)	ルイジ・ピオヴァーノ (指揮・チェロ)

●お問い合わせ先／アルカス SASEBO TEL. 0956-42-1111

南島原市会場舞台芸術公演「石見神楽の世界」～悠久の時を越えて いざ、神話の世界へ～

島根県石見地方に伝わる民俗芸能、石見神楽。それは往時、神の御心を和ませるという神職による神事であった。そのリズムは、他に類を見ない勇壮にして活潑な八調子と呼ばれるテンポの早いもので、見る人を神話の世界に誘う。

- 日時 11月10日(土) 開演 午後6時
- 会場 ありえコレジヨホール(南島原市有家町)
- 料金 500円(全席指定)
- チケット 南島原市教育委員会生涯学習課、同市教育委員会有家事務所(コレジヨホール内)(土、日、休日を除く9時～17時)
- 問合せ先 南島原市教育委員会生涯学習課
電話050-3381-5082



第6回 長崎県ライトミュージックフェスティバル

賞金
10万円

ジャズ、カントリー、ポップス等幅広い分野の音楽祭。

一般公募により出演者(7組程度)を決定し、公演当日大手レコードメーカーのプロデューサー等の審査により、グランプリを決定。賞金10万円。

当日は、関東を代表するギタリスト Char と関西を代表するギタリスト石田長生によるスーパー・ギター・ユニット BAHO が出演します。また、昨年グランプリ受賞のザ チューチューチュートルズも演奏で会場を盛り上げます。



- 日時 11月11日(日) 開演 午後1時30分
- 会場 諫早文化会館(諫早市宇都町)
- 料金 2,000円(全席指定)
- チケット 諫早文化会館、チケットぴあ、ローソンにて発売中
- 問合せ先 NBC 長崎放送「長崎県ライトミュージックフェスティバル」係
電話095-820-1060

しまの芸術祭「一支国芸術祭～和太鼓フェスティバル～」

日本を代表する桶太鼓奏者、林田ひろゆき率いる「ZI-PANG」によるコンサート。

リズムカルなサウンドに圧倒的な音圧と壮絶なテクニックを兼ね備えた ZI-PANG のステージをお楽しみください。

地元太鼓団体も出演予定。

- 日時 11月23日(金) 開演 午後6時
- 会場 壱岐文化ホール(壱岐市郷ノ浦町)
- 料金 一般 1,000円、中学・高校生 500円、小学生以下 無料
- チケット 壱岐文化ホール、壱岐市教育委員会生涯学習課ほか
- 問合せ先 一支国芸術祭実行委員会事務局(壱岐市教育委員会生涯学習課内)
電話0920-45-1202・45-1224

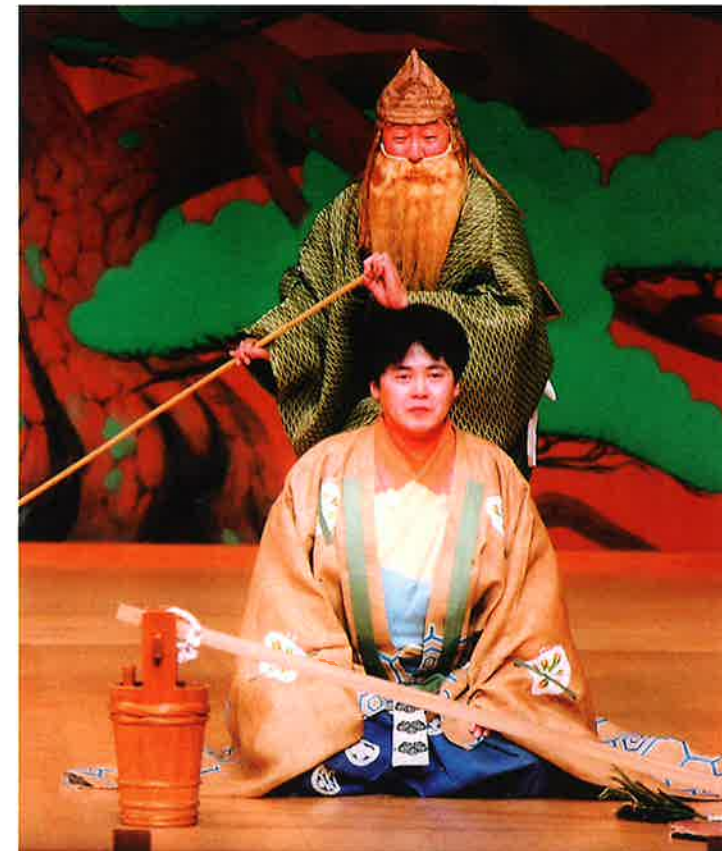


島原市会場舞台芸術公演「萬狂言 in しまばら」

人間国宝 野村萬氏をはじめ野村万蔵・野村万禄氏による狂言公演。

初めて舅の家に行く聲が、途中の渡し船で船頭に強要され土産の酒を飲まれてしまう「舟渡聲」(野村萬・野村万蔵氏)。

五穀豊穡を祈る舞で、囃子に合わせて力強い足拍子で舞う「三番叟」(野村万禄氏)。



人間国宝野村萬氏の島原初公演「舟渡聲」、地方では本格的に上演される機会が少ない「三番叟」、いずれも貴重な鑑賞の機会です。ぜひお楽しみください。

- 日時 10月3日(水) 開演 午後7時
- 会場 島原文化会館(島原市城内1丁目)
- 料金 全席自由
一般 2,000円(当日2,300円)
高校生以下無料(入場整理券必要)
- チケット 島原文化会館、島原市有明総合文化会館、島原復興アリーナほか市内プレイガイドにて取扱。
チケットぴあ、ファミリーマートの各店。(Pコード: 379-310)
- 問合せ先 「萬狂言 in しまばら」公演実行委員会(島原市教育委員会社会教育課内)
電話0957-68-5473
(月～金の午前9時から午後5時まで)

雲仙市会場舞台芸術公演「Kotist 宮西 希 コンサート」

オリジナル曲やジャズ、ロック、ポップスなどのポピュラーミュージックを日本の伝統楽器「箏(こと)」で奏でます。

洋楽器とのコラボレーション、さらにJ-POP、アニメソングから演歌、クラシックまで、リクエストに応じて箏で即興演奏するライブ・パフォーマンスは必見です。

- 日時 10月14日(日) 開演 午後2時30分
- 会場 吾妻町ふるさと会館(雲仙市吾妻町)
- 料金 500円 全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
- チケット 雲仙市教育委員会生涯学習課、同市教育委員会各分室、千々石町公民館、国見町文化会館、ハマユリックスホール
チケットぴあ、ファミリーマート各店(Pコード: 268-482)
ローソンチケット、ローソン全店(Lコード: 87286)
- 問合せ先 雲仙市教育委員会生涯学習課
電話0957-37-3113





若き巨匠 ジャン・ワン、
九州初の無伴奏リサイタルにご期待ください!!

「控えめであれ」、「望めよ、しかしむさぼるな」、「愛せよ、しかし独占するな」——バッハの音楽は中国思想に通ずるものが多くあると語るジャン・ワンのバッハへの共感と深い尊敬の念をこめたオールバッハプログラム。教会のような佇まいの中ホールで、無伴奏チェロの音色にひたる贅沢な秋のひとときをお過ごしください。

出演:ジャン・ワン
曲目:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調、第2番 ニ短調、第3番 ハ長調 (J.S.バッハ)

中ホールセレクション2007 Selection 2

ジャン・ワン チェロリサイタル

9月23日(日) 開場14:30 開演15:00 ■中ホール チケット好評発売中

【全席指定】一般=4,000円 学生=2,000円

長崎県文化活プロジェクト

ながさき音楽祭2007

「音楽文化の花開く長崎づくり」を目指し、「育てる・創る・楽しむ・販わう」をテーマに、今年からスタートする『ながさき音楽祭』。県内で28事業、アルカスSASEBOではこの二つの公演とともに小中学生を対象とした【ジュニアヴァイオリンセミナー】を開催します。



文化の宝庫「イタリア」屈指の室内オーケストラが初来日!
南イタリア・カンパーニア州は、長い歴史を持つナポリを州都に持ち、ナポリ民謡「帰れソレントへ」で知られるソレント半島や古代遺跡で有名なポンペイの町など、数多くの歴史的、芸術的な文化の宝庫ともいえます。その文化の宝庫カンパーニア州から注目の室内オーケストラが初来日します。地元出身のソプラノ歌手との共演も実現。九州ではアルカスSASEBOのみの公演をお聴きのがしなく!

出演:管弦楽 イタリア・カンパーニア合奏団 指揮:チェロ ルイジ・ピオヴァーノ
ソプラノ 鶴田智子、久野恵理 司会 春月誠司、中村友美
曲目:R.グランド編曲「アイ・ラブ・シネマ」(映画音楽MDレー) レスビーギ・リュートのための古代舞曲とアリア第3番 サン＝サーンス:白鳥 ピアソラ:リベルタンゴ、グランタンゴ
プッチーニ:オペラ「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」
プッチーニ:オペラ「ジャンニ・スキッキ」から「ムゼッタのワルツ」ほか

「イタリア・カンパーニア合奏団」

10月20日(土)

開場18:30 開演19:00 ■大ホール

チケット好評発売中

【全席指定】S席=4,000円 A席=3,000円 (各席学生半額)



指揮:チェロ ルイジ・ピオヴァーノ



鶴田智子



久野恵理



トップアーティストと長崎で活躍する演奏家による競演!!

ながさき音楽祭・音楽監督の大山平一郎らトップアーティストと長崎を中心に活躍する演奏家たちが、ピアノ、管楽器、弦楽器による多彩な室内楽の世界へと誘います。昨年、ブルガリア共和国で行われた音楽と地球国際コンクールピアノ部門で優勝を果たした樋脇優子さんなど、長崎県が誇る、素晴らしい演奏家たちにご注目を!!

出演:【第1部】樋脇優子(ピアノ独奏)
江川敦子(ピアノ)、大倉安幸(オーボエ)、小川 勉(クラリネット)、種口敬明(ファゴット)、清水万敬(ホルン)
【第2部】伊藤 恵(ピアノ)、豊嶋泰嗣(ヴァイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、辻本 玲(チェロ)
曲目:ピアノソナタ第13番(シューベルト)、ピアノと木管のための五重奏曲 作品16(ベートーヴェン)、ピアノ四重奏曲 第1番 作品25(ブラームス)

室内楽への誘い

10月26日(金)

開場18:30 開演19:00 ■中ホール

チケット好評発売中

【全席指定】一般=3,000円 学生=1,500円



樋脇優子



江川敦子



大倉安幸



小川 勉



種口敬明



清水万敬

主催:長崎県・長崎県文化団体協議会



【第4回定期演奏会】



“まち”が育むオーケストラ

合奏団のサポーター組織

「パトロネージュ倶楽部」とは

今年のOMURA室内合奏団はアウトリーチコンサートや吹奏楽クリニクなどの子供たちを対象にした公演がこれまで以上に活発です。いずれもアーティストと子供たちとの距離を大切にしたいと少人数制でのプログラムが特徴です。しかし、その反面でチケット収入などが見込めない内容であるため、採算が取りにくいのも現実です。よって、実施の際には県や文化庁といった公的な助成団体の補助が不可欠となりますが、今年度からは合奏団のサポーター組織「パトロネージュ倶楽部」による支援が加わり、より充実した公演内容を目指すことが可能となりました。

どこを見ても財政面で課題を背負っているオーケストラは少なくありませんが、当合奏団も同様。ましてや、欧米では一般的なホールとオーケストラの同組織による運営形態は国内においては現在も数例しかなく、設立そのものが挑戦的な試みであり、当初から予算面での不安は常でした。しかしながら、発足から間もなくしてファンの皆様から沸きあがったサポーター組織設立の声は昨

年末にようやく実現し、現在の入会数は120名、260口を越え、さらには、楽器の寄贈や公演スタッフとしての参加など様々な形でサポーターを頂くまでになりました。

「地元ファンとの密着を今回ほど感じたことはない。発足3年で、ようやく自分たちの『抱えオーケストラ』という実感を皆さんが持ち始めたのかな」と、新聞記者の取材に6月末に開催した第4回定期演奏会を振り返る音楽監督の迫昭嘉。事実、終演後の鳴りやまない喝采に何度もステージに呼び戻されたほど。コンサートに会場として拍手や声援を頂くこと、パトロネージュとして支援を頂くこと、いずれにしても「まち」の方に愛され、応援して頂くことで「まち」のオーケストラが育まれていくことは必至です。

当合奏団のメンバー構成は東京や福岡などに在住している者も含めて本県出身者が6割を占めており、この秋開催される「ながさき音楽祭2007」では時津町をはじめ各地の会場においてオーケストラやアンサンブルでの出演を予定しています。ぜひ、コンサートに足を運んで頂き、あなたの「まち」のアーティストに大きな声援を送ってください。

あなたも“音楽サポーター”になりませんか

「パトロネージュ倶楽部」のご案内

皆さんとともに歩むOMURA室内合奏団の
“感動”ある“まち”づくりを応援してください

長崎で初めてのプロ室内オーケストラ「OMURA室内合奏団」は特定のスポンサーやオフィシャルパートナーをもたない国内では稀な立ち上がりで設立されました。これからは、コンサート活動はもろもろのこと、学校へのアウトリーチ活動や吹奏楽部への演奏指導を通じた青少年育成事業まで、幅広い音楽の普及と発展を目指します。私たちの活動にご理解とご意見を願う個人や企業法人の皆様からのご支援をお願いいたします。

年会費 (1口)	個人	法人
期 間	5,000円 入会日より1年間	50,000円 入会日より1年間

- ◆ご入会ください
◆各種演奏会のご案内
◆合奏団メンバーとの懇談会へのご招待
◆主催公演プログラムへのご芳名掲載

＜お問い合わせ＞ 財団法人大村市振興公社 事業部 ☎0957-20-7207

【長崎歴史文化博物館】

鎖国時代、海外に開かれ、唯一西洋との交流のあった長崎。その長崎、そして日本の海外交流の歴史と文化が一堂に体感できる博物館。緑豊かな諏訪の森に蘇った長崎奉行所の勇壮なたたずまいは江戸時代の息吹が感じられ、当時の雰囲気を感じることが出来ます。

■歴史を体感

48000点に及ぶ海外交流史に関する貴重な資料を所蔵する博物館は「近世長崎の海外交流史」をテーマに、教科書にも登場する実物資料とともに、復元模型やデジタル映像、情報検索端末などにより大人から子供まで「楽しく・わかりやすい・新たな発見」が得られる演出で、長崎の歴史と文化をさらに深く知っていただけます。

■江戸時代にタイムスリップ

博物館のもう一つの特徴は、江戸時代、幕府の直轄地であった長崎奉行所立山役所の一部を、当時の資料と発掘調査を基に実際にあった場所に忠実に復元。当時の人たちが歩いた石段を登り正門をくぐれば、そこはまさに江戸時代。奉行が使節と謁見したり貿易品の荷を改めたりする約45畳の「対面所」、シボルト事件の裁判や踏み絵も行われていた「御白洲」、奉行の応接間でもある「書院」な

どが細部にわたり再現され、まさに江戸時代にタイムスリップしたかのようです。奉行所内の展示室では「犯科帳」や「踏絵」などを展示し、奉行所の歴史的な役割をわかりやすく伝えています。

■知のナビゲーター

長崎の歴史文化をより深く知っていただく「長崎学講座」や「長崎歴史文化講座」、奉行所の雰囲気を感じながら、脚本家で博物館の名譽館長でもある市川森一氏が長崎ゆかりのゲストとともに送り出す「奉行所トーク」、大堀哲館長による「ミュージアムトーク」なども準備しています。また、博物館を飛び出た「史跡巡り」も。館内には長崎学相談コーナーや伝統工芸体験工房もあり、知的好奇心に応える様々なプログラムを用意しています。

■企画展で歴史散歩

また、この秋は、「長崎くんち」の歴史やその文化を紹介する「くんち三七三年展」、日本の近代化と長崎の関係をたどる「勝海舟と近代長崎」展を開催します。独自の歴史と文化をもつ長崎の姿を見つければ、長崎歴史文化博物館へぜひお出かけ下さい。

長崎の博物館



美術館の秋を楽しむ



【長崎県美術館】

日本を代表する建築家 隈研吾氏の設計による長崎県美術館は、「長崎水辺の森公園」の一角にあり、敷地を流れる運河を挟んで建つ美しいデザインは訪れる人々を魅了します。また、屋上庭園からは長崎港を一望でき、公園や港の四季折々の風景も、美術館の魅力となっています。

収蔵作品は「須磨コレクション」と呼ばれる個人コレクションを母体とした、東洋有数の規模を誇るスペイン美術コレクションや長崎ゆかりの美術作品など。常設展示室にはやわらかな外光が降りそそぐパティオ（中庭）があり、変化に富んだ心地良い鑑賞空間でゆっくりと美術を堪能することができます。

■蒲郡の朝

現在、このパティオの前には、「ながさき音楽祭2007」のポスターに使用されている「蒲郡の朝」をはじめ、山本森之助の作品を展示しています（11月25日まで）。

「ながさき音楽祭2007」の音楽監督である指揮者 大山平一郎氏の「ながさき音楽

祭の主役は長崎県の演奏家。ならば、ポスターも長崎県出身の画家を使いましょう。」という提案から、絵画「長崎が生んだ風景画家の作品」と音楽「長崎の音楽祭ポスター」のコラボレーションが実現しました。森之助の描いた朝焼けに染まる海の情景を眺めて、あなたの心に響く音楽に耳を傾けてください。

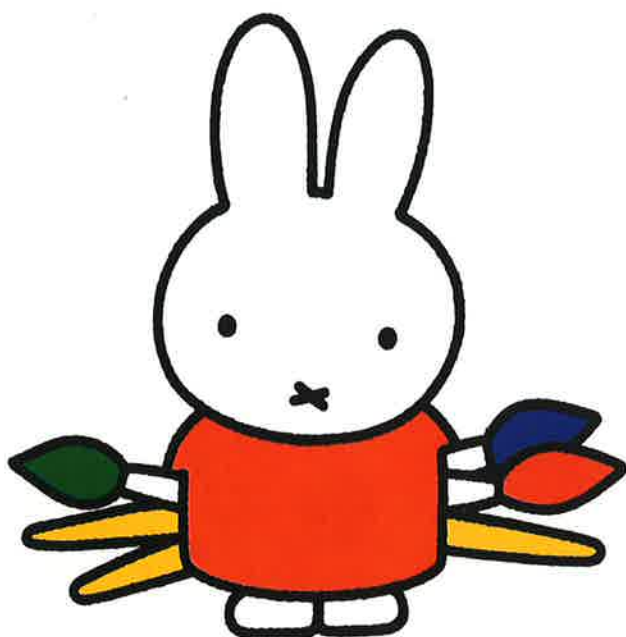
■美術館で音楽を

美術館のエントランスロビーでは、月2回、活水女子大学と長崎大学による無料のコンサート「イブニングライブ」を開催しています。さらに、音楽祭のイベントでは、新人演奏会経験者による声楽とピアノによる演奏や室内楽の優雅な演奏など、秋の夜長の美術館コンサートを楽しむことができます。

水辺に映える緑の中、自然を感じながら美術や音楽と親しむ空間が、あなたをお待ちしています。

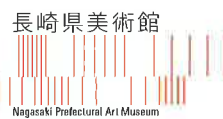
■企画展で芸術の秋

また、この秋は、「ミッフィー」がモダンアートの世界を案内してくれます。ミッフィーとの握手会やアニメ上映会、絵本を作るワークショップなど関連イベントも盛りだくさん。美術館で「ミッフィーと一緒に芸術の秋をお楽しみください。」



Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv, 1953-2007 www.miffy.com

<お問い合わせ>
長崎県美術館
長崎市出島町2番1号 TEL.095-833-2110
http://www.nagasaki-museum.jp/



2007.10.5(金)～11.25(日)

「ミッフィー」の生みの親であり、数多くの絵本を生み出しているディック・ブルーナは、現代のオランダを代表する絵本作家であり、グラフィックデザイナー。1997年に出版された「ミッフィーのたのしいびじゅつかん」は、ミッフィーが家族と一緒に美術館を訪れる物語で、そこには、幼い子どもが初めて本物の美術作品に触れた驚きと感動が描かれています。本展では、この絵本の内容に沿って、さまざまな切り口からモダンアートを紹介します。さらに、ブルーナの作品の数々を展示し、彼がどのように試行錯誤しながら独特な技法やスタイルを生み出したのか、制作の秘密に迫ります。

◇開館時間◇ 10:00～20:00(最終入場は19:30)
◇会期中休館日◇ 10月22日(月)・11月12日(月)
◇観覧料◇ 一般900円(800円) 高校生・大学生・70歳以上600円(500円)
中学生以下無料
※()内は前売り及び20名以上団体料金。

Nagasaki Prefectural Art Museum

「くんち三七三年展」

2007年9月29日(土)～10月21日(日)
会期中休館日：10月16日(火)

「長崎くんち」は長崎を代表する祭りのひとつであり、その始まりは今から373年前の寛永11年(1634年)のことでした。当初は諏訪神社の神事として始まりましたが、国際貿易都市・長崎の繁栄とともにくんちは美しく華やかになっていきました。このように発展した長崎くんちは、現在でも町の伝統と誇りのもとに継承されています。本展覧会では、くんちを彩る傘鉾にスポットをあて、傘鉾にこめられた人達の願いと美意識、制作に関わる伝統の技を明らかにします。また、くんちに関する様々な映像資料を上映し、現在まで受け継がれている伝統を体感できる内容です。



本大工町傘鉾垂 長崎歴史文化博物館蔵

<お問い合わせ>
長崎歴史文化博物館
長崎市立山1-1-1 TEL.095-818-8368
http://www.nmhc.jp/



「勝海舟と近代長崎展」(仮称)

2007年11月3日(土)～12月9日(日)
会期中休館日：11月20日(火)



「威風丸離航之図」(鈴藤勇次郎作)横浜開港資料館蔵

長崎ゆかりの人物であり、日本の近代化に大きく貢献した勝海舟にスポットをあて、幕末の動乱という社会状況のなかで、長崎が果たした役割について紹介します。また、2007年は医学伝習所(現長崎大学医学部)や長崎鋳鉄所(現三菱重工業長崎造船所)が開所してから150年目の年であり、これを期に日本の近代化における長崎の果たした足跡を辿ります。

Nagasaki Museum of History and Culture

この秋は「たびなが」で、歴史にふれるまち歩きを楽しもう!

長崎県の歴史は、万華鏡のように多彩な輝きを放ちながら、今も人々を歴史の舞台へと誘います。知れば知るほど尽きない知的好奇心…。さわやかな秋風が吹くふさと長崎県を、先人たちが残したメッセージを感じながら、歩いてみませんか。

長崎の歴史散策には、必須アイテムをお忘れなく!

1550年にフランシスコ・ザビエルが平戸を訪れて始まったキリスト教の布教、そして権力者の交代や海外への対外政策を背景に激動する日本。時代に翻弄されたキリシタンたちの450年以上にもわたる繁栄と弾圧、潜伏から復活までの歴史は、世界でも稀にみる貴重なものです。その中心舞台となった長崎の地を、キリシタン文化をひもときながら、心洗われる癒しの旅に出かけませんか。

どこでも便利な「ブック」派のあなたに!

【思わず旅したくなる歴史ガイドブック】

旅する長崎学

6 キリシタン文化の旅 長崎へのいざない
—地域ガイドによる歴史散策アドバイス—

長崎県の歴史の旅へいざなうガイドブック。「キリシタン文化編 全5巻」の総集編として、エリアごとに、歴史の概要はもちろん、地域ガイドがおすすめする歴史散策のコースを紹介しています!

■A5判 ■88ページ ■600円(税込) 主要書店で好評発売中!

ウェブから簡単「アクセス」派のあなたに!

【歴史と旅の遊学サイト】

たびなが 旅する長崎学

長崎県の歴史と旅の魅力が満載のウェブサイト。歴史の舞台をめぐる散策コースや、ますます興味をかりたてる発見コラム、プレゼントが当たる歴史クイズなど、楽しく学べるコンテンツがいっぱいです!

PC/コン http://tabinaga.jp/ たびなが 検索

モバイル http://tabinaga.jp/m/

■毎月第1・3水曜日に新しい散策コースを紹介しています。

広域

- 世界遺産候補を巡る旅(平戸 & 外海編)
- 世界遺産候補を巡る旅(長崎市街 & 島原編)
- 殉教の足跡を探して(島原半島 & 天草)

平戸・生月

- 先祖の思いに触れる聖地を巡る旅
- 土地に息づくかれキリシタンの歴史
- ザビエルも訪れた国際貿易港

西海

- あふれるポルトガル語 交流の歴史をたどる
- 白い十字架が目印の港町「横瀬浦」の旅

五島列島

- 歴史に根ざす祈りの場へ 心洗う旅
- 時を忘れ心癒す空間求めて 教会めぐり
- 世界遺産候補を巡る旅 下五島編
- 世界遺産候補を巡る旅 上五島編

大村

- キリシタン時代の城下町と弾圧の歴史を巡る
- キリシタン時代の面影をたどる大村の旅

外海

- ド・ロ神父の遺した精神を探して

長崎

- 想像膨らませてキリシタンの町を探索
- モニュメントにこめられた殉教悲話
- 平和を祈る鐘の音響く丘を訪ねて
- 近代化の第一歩 南山手と東山手物語

島原半島

- 貿易の栄華と殉教の足跡を探して
- 原城に散った祈り「島原の乱」をゆく

第52回 長崎県美術展覧会公募展

長崎県文化史の一翼を担って52年。日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザインの傑作が一同に揃う。今年も会期中、委嘱作家の提供作品によるオークションや小・中学生を対象とするワークショップを開きます。

区分	長崎会場/入場料			佐世保・諫早会場/入場料		
	当日	前売り	団体	当日	前売り	団体
一般	500円	400円	400円	250円	200円	200円
高校	300円		200円	150円		100円
70歳以上	400円		320円	200円		160円
小中生	無料			無料		

- 団体は20人以上
- 障害者手帳保持者及び介護者1名は5割減額
- 前売券販売所: 県文化振興課・県展事務局・長崎県美術館・浜屋プレイガイド・画材店など

第五十二回県展公募展西望平和賞
吉田正勝氏作



- 1 長崎会場**
 - 期 間: 9月15日(土)~9月29日(土)
 - 会 場: 長崎県美術館
 - 開 館 時 間: 10時~20時/休館日: 9月25日(火)
- 2 佐世保会場**
 - 期 間: 10月4日(木)~10月14日(日)
 - 会 場: 佐世保市博物館島瀬美術センター
 - 開 館 時 間: 10時~18時/休館日: 10月9日(火)
(入館は17時30分まで)
- 3 諫早会場**
 - 期 間: 10月18日(木)~10月28日(日)
 - 会 場: 諫早文化会館
 - 開 館 時 間: 9時~17時/休館日: 10月22日(月)
(初日は10時~)

移動展

移動展は
入場無料

- 1 新上五島町会場**
 - 期 間: 11月8日(木)~11月11日(日)
 - 会 場: 新上五島町石油備蓄記念会館
- 2 南島原市会場**
 - 期 間: 11月15日(木)~11月18日(日)
 - 会 場: 南島原市原城文化センター
- 3 東彼杵町会場**
 - 期 間: 11月22日(木)~11月25日(日)
 - 会 場: 東彼杵町歴史民俗資料館

編集後記

Editor's Postscript

○澄んだ空気のおかげで長崎港がいつになくきれいに見えた。見慣れた風景の中に弦がキラリと光るハープを見つける。それは、太陽と言う名のスポットライトが照らし出した女神大橋の翼だった。今秋、この長崎を舞台に初の音楽祭が幕開けする。私はこれらのステージにどれだけのスポットライトを当てることができるだろうか。(柏)

○初めて、美容室回りをした。まつげケアの店にも入った。音楽祭のポストカードを置いてもらうための、真夏の街頭作戦。さすがに100軒も回ると疲れたが、その分、街角のいろんな風景と出逢った。知らないことを知るといのは、幾つになっても勉強になる。その点だけでも、音楽祭に感謝している。(江口)

68 文協
BUNKY
Cultural Information of Nagasaki

第68号(2007)平成19年 9月発行

発行/長崎県文化団体協議会
住所/〒850-8570 長崎市江戸町2番13号
長崎県文化・スポーツ振興部 文化振興課内
TEL/(095)822-6049
FAX/(095)829-2336
編集/長崎県文化団体協議会事務局
印刷/株式会社 昭和堂